

三鷹市高齢者センターけやき苑認知症対応型通所介護  
平成30年度上期 運営推進会議

1. 日 時 平成30年9月13日(木) 13:30 ~ 15:00

2. 場 所 けやき苑 食堂 けやきの部屋

3. 参加者 9名

- ・利用者ご家族2名
- ・地域住民代表(民生委員)
- ・知見を有する者(小規模多機能型居宅介護 管理者)
- ・地域包括支援センター(大沢地域包括支援センター)
- ・けやき苑職員(管理者、生活相談員2名、ソーシャルワーカー)

4. 議事内容

1) 主催者挨拶

けやき苑認知症対応型通所介護(以下「けやきの会」)を先駆的・研究的に実践、運営しているが、まだまだ市民、ケアマネジャー等の認知度が低く、利用率の低下がみられている。この会議を通じて、けやき苑の取り組みについて、より理解を得られるようにしたい。

2) 事業実績報告 別紙①

- ・上半期稼働率、約58.6%、登録22名、平均84.7歳 介護度の変化について。
- ・複数回利用の利用者の終了、ショートステイ利用数の増加等、利用率の低下の原因と考える。

(委員) 他の認知症デイと比べて、けやきの会の利用率はどうか?

(職員) 今まで、他施設に比べて高い利用率だったが、今年度は同じような水準になっている。

(委員) 週1回利用の方の回数を増やしてはどうか?

(職員) 基本的には利用者のプランが元となるが、長期的に見れば、新規利用者数の拡大が望ましいと思っている。短期的には通所回数増で利用率の面は上向くが、定期的なショートステイ等で、思ったように利用率が上がらないことがある。

(委員) 認知症対応型通所介護について、ご家族への説明が重要ではないか。

(家族) 認知症対応型通所介護について、周知が低いと感じている。デイサービスの中でもその違い

が分からない。もっとアピールすべきだと思う。近所の方で、「もう少し細かなケアを受けられればいいのに」と思うケースがある。最近ケアマネジャー退職のため、変更があった。ケアマネジャーによって、情報量の差があるのに驚いている。

(職員) ケアマネジャーに、より理解をしてもらえるよう、通所職員から説明したいと思う。ケアマネジャーの間でもけやき苑認知症デイのことが「けやきの会」で通じるようになれば良いと思う。

### 3) 事故報告 別紙②

6件の報告あり

### 4) 事例報告 別紙③

参加者からの意見、感想

(委員) けやき苑のメリットとして、一般型で通所を開始し、状況を見て、必要に応じて認知症対応型に移行できるのは強み。ケアマネジャーにぜひ聞いてもらいたいケース。また、ご本人の口から、「帰りたい理由」が出せていることが素晴らしいと感じる。ケアの内容が充実していると感じる。

(委員) 調理活動で、調理の手順を思い出せたことは素晴らしいことだと思う。

(委員) 移行前後で、他の利用者との関りに大きな変化があったようだが、どうやって変わったのか。

(職員) 利用者数の違い、活動場面の变化など、一般型では落ち着かない場面が多い。けやきの会では、場所が固定され、見える顔も同じ、対応する職員も同じのため、ご本人にとって安心できる一つと考える。また、職員側の見守りの仕方にも変化があった。距離感の違いなども良かったのではないかと。

### 5) けやきの会に参加 (14:15~14:35)

音楽療法終了後、利用者とお茶を楽しむ。お客さんをもてなすため、到着を心待ちにしており、笑顔でお迎えして下さる。会話も弾んでいる。

### 6) 質疑応答・意見交換等

(職員) 利用者の皆さんが「おもてなし」の心でお迎えしてくれていた。もてなすことが得意な方た

ちなので、いい表情だった。

(委員) 喜ばれていることが伝わってきた。他者と交流することが大事だということが理解できた。他施設との交流はどうか？それぞれの利用者にとっていい刺激になるのではないかと思う。

(職員) 保育園との交流はあるが、他施設との交流はあまりない。今後検討したい。

(家族) 妻が通っている。見学で初めて様子を見せてもらったが、細かく気を使っておられた。自身の介護を反省しなければならない。二人きりの生活で、イライラすることもあり、時に強くなってしまう。ソフトな関係が築ければいいなと思う。教えてもらいたい。

(委員) ヒヤリハット報告での、服薬忘れの件では、使用しているタブレットは施設のものか？

(職員) 施設の備品として配置している。今後も、服薬忘れのないよう注意したい。

(委員) 利用者が穏やかに過ごされていることが良く分かった。それぞれいきいきしていた。また、役割を果たされていた。ケアが充実しているからだと思う。

(職員) 利用者を見ていて、今日は、人との関り、交流の重要性を再確認できた。

(家族) お迎えしようとする気持ちが伝わってきた。自宅では調理など、力を発揮する場面がなくなっている。危なかったり、介助者がやってしまうことが多くなり、家族側が止めてしまう。けやきの会では、そういう場面を作って、それぞれに役割があり、大事なことだと思う。仲間と話をすることも必要。

(委員) 自分の親にも、役割があり、外出もしている。続けられるよう見守りたい。

(家族) 今年の夏はこたえた。あまりに暑くて体調を崩した。気を付けたいと思う。

(職員) 本日はありがとうございました。

平成30年度 上半期 三鷹市高齢者センターけやき苑 認知症対応型通所介護事業実績等

【利用者状況（平成30年 4月～8月）】

（稼働率及び一日の利用平均人数）

	延べ人数					合計
	4月	5月	6月	7月	8月	
要介護1	44	44	26	32	29	175
要介護2	51	50	59	55	57	272
要介護3	24	16	16	13	17	86
要介護4	17	16	16	16	18	83
要介護5	41	37	65	62	57	262
一日平均人数	7.4	6.8	7.00%	7.1	6.80	
稼働率 (定員12名)	61.5%	56.6%	58.3%	59.3%	57.1%	58.6%

（新規受け入れ）

新規利用	2
移行(再掲)	1
合計	3

（利用者年齢）

65～69歳	1
70～74歳	0
75～79歳	4
80～84歳	4
85～89歳	9
90～94歳	3
95～99歳	1
100歳～	0
平均84.7歳	

（通所回数）

1回	7
2回	7
3回	4
4回	3
5回	0
6回	1
平均 2.30回	

（利用終了）

逝去	1
施設入所 <small>(老健・特養)</small>	1
利用辞退 <small>(自宅療養)</small>	0
合計	2

（介護度別）

	利用実人数					延人数
	4月	5月	6月	7月	8月	
要介護1	3	3	3	3	3	15
要介護2	6	6	6	7	7	32
要介護3	3	3	2	2	2	12
要介護4	3	3	4	4	3	17
要介護5	6	5	6	7	7	31
合計	21	20	21	23	22	

（曜日別登録数 平成30年9月13日現在）

	月	火	水	木	金	土
曜日別登録数	7	9	9	10	10	6
要介護1	2	1	1	3	0	1
要介護2	3	2	2	4	2	2
要介護3	0	1	1	0	2	0
要介護4	0	1	1	1	1	0
要介護5	2	4	4	2	5	3

※実人数22名（男性8名、女性14名、入浴利用者11名）

※ショートステイ（毎月定期的に利用11名、利用検討中1名）

平成30年度 上半期（4月～8月）  
認知症対応型通所介護 事故・ヒヤリハット報告

◆事故・ヒヤリハット

発生日時	氏名	区分	発生状況	原因分析	再発防止策等
05/02 16:00	女性	事故	15時の与薬忘れ	15時にアラームが鳴るように定時にiPhoneにセットし、15時に鳴ったが、アラームが鳴っているのを聞いた職員が看護師に知らせなかった。	iPhoneはリハビリ室に置かず、看護師が持ち歩く。
06/12 11:45	男性	事故	入浴（脱衣室） 入浴後、ベッド上で横になって着替え介助中、シャツの袖を通しての時に、嫌がられる動作でシャツをくわえて引っ張る形になり、破れてしまった。	シャツを着るのに手を掴んでいるため、手を払いのけたいが出来ないので噛む事につながると考えられる。以前にも噛もうとする動作はあったが、今日は入浴前から穏やかだったこともあり、注意が不十分だった。	不意な行動が多いので、対応には十分気をつける。特に目の前にあるものに手が出ることで多いので、ご本人の行動を観察しながら対応する。
06/14 11:30	女性	事故	けやきの会活動中。 他利用者が投げたボール（リハビリ用の柔らかいボール）がご本人の頭にぶつかった。	該当の他利用者は「ボールを隣に渡す」という動作理解ができず、色々な方向へボールを投げている様子は確認していた。職員が間に入り、フォローするようにしていたが、フォローしきれずにご本人にぶつかってしまった。	使用用具の適正、実施内容について、その場の状況に応じて臨機応変に対応する。また、実施しているものに対して、利用者がどういった反応をしているか、理解をしているか、どのように職員が関われば良いのか、日々利用者を観察・アセスメントをしていく。
06/27 10:00	男性	事故(物損)	入浴（脱衣所） ベット→車椅子への移乗介助の際、ベットを下げた時に車椅子アームレストの部品が破損してしまった。	車椅子をベットに寄せすぎている。	2人介助なので、ベットを先に下げる、車椅子とベットの位置関係など、職員同士で確認しながら落ち着いて移乗介助を行っていく。
06/27 09:40	男性	ヒヤリハット	入浴（浴室） 浴槽（チェアインバス）に入る際、アダージオの手すり浴槽の間に左腕がはまってしまった。	ふだんから手や腕を伸ばす動きがあることは認識していたが、入浴時の注意が薄れていた。浴槽に湯を入れて浮力で抜くことができた。	頻繁に手や腕を動かさず方なので、入浴対応時は手の動きにも注意しながら職員間で対応行う。
07/20 14:55	男性	ヒヤリハット	1階玄関。 帰りのバスを待っていたご本人が、一人でエレベーターを操作して2階まで移動していたところを2階の職員が発見した。	1階玄関ロビーでバスを待っていたのは確認していた。職員がそれぞれのバス乗車への誘導対応を開始した際に見守り対応が手薄になってしまった。	他の利用者に対しての乗降介助・案内も必要だが、バス待ちの利用者への見守りも手薄にならないよう改めて意識する。

◆苦情  
なし